

南国俳壇

黄昏支所 昼から埋葬許可 一つ 櫻谷雅道 (天條俳句教室)

南国歌壇

いずこゆかきして来にけむ一条の 光てらさむ今日もいそむ

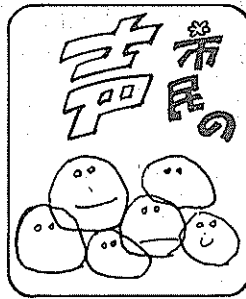
全国母親大会に参加して

安岡 静子 (大塚保育所)

はじめて全国母親大会に参加して、若いお母さんや保母さんが多いのにひと安心。

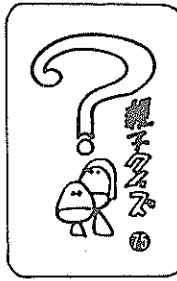
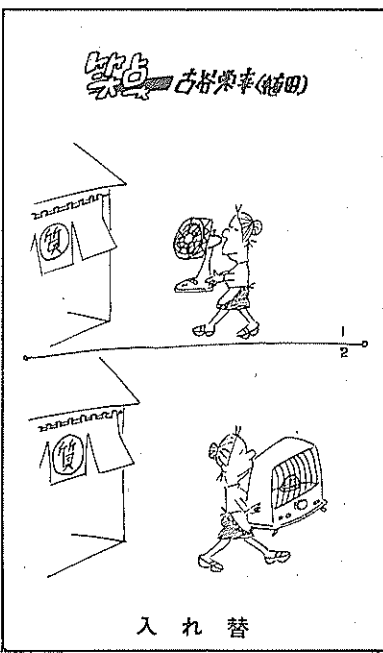
しようとして発案前から決めていた。分科会の会場は富田中学校の体育館で、参加者の熱気と風通しの悪いことでは汗をふきながら話し合っていた。

イトなどにまかせきりの園など、いろいろな方法でおこなわれている。母親が安心して働けるためには、通勤時間にもあった長時間保育が必要だということは認めているものの、保母の労働時間や労働過重の問題があり、まだ取り組んでいないという園も多かった。



第一日目の分科会は、よりよい保育所と保育所づくりに参加し、自分自身紹介をかねて問題を出し合った。私は、保育労働者の問題の参加者の大部分が若い保母さんたちで、全国各地の公立、私立、無認可保育所の労働条件や悩みを出しあった。

午後には、分科会の話をもとにして全体討議となり、各地の運動が出された。大阪の大塚市では、無認可保育所を認可保育所にする運動とともに直接厚生省と交渉して



補助金をつけてもらおうように約束したとか、大阪の高槻市や東京の豊島区では保育料値上げに反対して、父母の会が議会傍聴に多数参加して値上げの額を低く抑えたり、第子以降を半額にせよという声も出された。

「ご家庭で話し合ってください。答えは今月号の広報に出ています。もしも、空気の乾燥しやすいうちから春先、いよいよインフルエンザです。」

- しめきり・十二月十五日(木) おくり先・〒783 南園市 大塚 南園市役所内広報委員会 親子クイズ係

市民賞受賞の想

第十回市民賞受賞の一人としてわが古市部落の島田房一さんが選ばれたことは、島田さんの功勞を想えば当然のことながら、この小さい古市部落から名譽ある受賞者が出たことが私にとりて嬉しく、心からおめでとくと祝福せずにはられません。

風格を少しは見習ってほしいと思っています。女だか男だか判らない男性がふえてしまつて、女性のこきげんとりに浮身をやつしているから「女性上位」などという変な言葉が流行してしまつたではないか、「男性よ、しっかりせよ」と私は言いたい。

今でも「老人クラブなどには入らんぞ」と頑張っているときいて、私は嬉しくて拍手を送りたいと思つた。この若さの原因はいろいろあると思つますが、まずあげたいのは「常に学ぶ心で前向きに生きていくこと」、寝ても覚めても地域社会の福祉向上を考えておられることです。昨日も明日もない。今日に生きよ」という言葉がありますが、人間が昔のことを考えるようになったら年を取つた証拠であるとか。私たちも過去のことは忘れて自分の仕事に誇りを持って、今日を真剣

第四回文化祭を省みて

島村 辰彦 (文推協副会長)

十六部門、二十一団体七百五十余名の会員及び本年度よりダンス部門も参加して、第四回南園市文化祭が十月二十九日より十一月四日まで開催され盛況のうちを終りました。

研さんと練まの成果が伺われる出来ばえであり年々意欲と技術が高揚していることが感じられ、展示部門、舞台部門共に回を重ねるごとに格段の進歩が見られ本当に喜ばしい事であるが進行についてはまだまだ反省しなければならぬ事が多い。文化芸術に終点はない高い目標を掲げ一歩一歩前進し創造と実践、相互扶助の精神と人間関係の和をモットーにして今後文化祭の行事を進めて行きたい。

十一月三日の文化の日には入場参観者二百余名を数え一時は椅子席が不足した様であったがご案内申しあげた老人クラブの方々も終日楽しく観賞して頂く事が出来た様です。観賞して頂く成果であったダンス部門のパンと牛乳の販売は観客へのサービスとなり多くの人を集め、茶道部の立礼お茶席は出演者ならびに観客の休憩の場所となり文化祭らしい方法であった大変効果的であったと思つた。

十月三十日の六市町交流共進大会においては交流の意義が徹底していないかつたのとその上あいにくの雨で入場者自名足らず、主催側である南園市として各市町の出演

者に申し訳ない事であった。舞台においては、格調の高い演技をひろうして頂きました。また今回高知市教育委員会の紹介により立礼パレードの参加出演もあり多彩な文化交流大会であった。もっとも多くの市民の方々に観て頂きたかつた残念に思われる。

終了後各市町の出演者及び南園市の会員を交へて一堂に集まり親睦談話と反省会を行い文化交流祭の将来の方向や文化行事がいかにすれば大衆の中に溶け込んで行くのか市民と共に歩んで行く事が出来るのかなど多くの問題点を討議した事では大きな成果を得たと思つた。